

津波で流されたものは どこに行ったか



～東日本大震災により流出し、北太平洋を横断した海洋漂流物について～

入場無料
定員110名
先着順定員締め切り

※空席状況によっては、
当日受付も可能な場合が
あります。

日時 2017年5月20日(土)
9:30～12:00

会場 ハーネル仙台2階「松島A」
<http://www.heanel.jp/access>

2011年、東日本大震災によりおこった津波で、たくさんのものが海に流されました。海に流されたものの一部は、長い時間をかけ、アメリカやカナダなどの太平洋の反対側の国々にたどりつきました。海岸に漂着したもの(例えば、コンクリートのかたまり、小さな船、木、プラスチック)には、フジツボや貝、ワカメやコンブなどのいろいろな生物が付着していました。津波で流されたものに付着して外国にたどりついた生物は、その土地にもとからいた生物にとって、どういふ影響をもたらすのか、だれも予測できませんでした。津波で流されたものは、どこに行ったのでしょうか?そして、一緒に流れついた生物はどうなったのでしょうか?

日本、そして、カナダとアメリカの研究者や市民活動団体が協力して、こうした津波で流されたもの、そして、それに付着していた生物について、北太平洋海洋科学機構(PICES)という国際機関を通じ、3年間、一緒に調査と研究、清掃活動を通じた交流を行ってきました。今回、その結果わかったことを、みなさまにお話しいたします。

講演テーマ

※逐語通訳(英日のみ)付き

講演1

東日本大震災の後に
北米とハワイで何が起きたか?

Nancy Wallace アメリカ海洋大気庁(NOAA)

講演4・5

漂着物に何が付いていたか?—動物と海藻—

James T. Carlton 米国ウィリアムズ大学
川井浩史 神戸大・内海域環境教育研究センター

講演2

津波で流されたものは
太平洋上をどうさまよったか?

蒲地政文 JAMSTEC

講演6

漂着物に付いた生き物が生態系に与える影響は?

Thomas Therriault カナダ水産海洋省(DFO)

講演3

津波漂流物に関する
市民の取り組みと国際交流

坂本昭夫 海をつくる会

講演7

船など他の生き物の運び屋との比較

Cathryn Clarke Murray カナダ水産海洋省(DFO)

お問い合わせ

国立研究開発法人国立環境研究所 地域環境研究センター 海洋環境研究室

TEL: 029-850-2394 FAX: 029-850-2569 E-mail: hidemaki@nies.go.jp 担当: 牧 秀明



プログラム

- 9:30 ～ 開会のあいさつと背景説明
- 9:38 ～ **講演 1** 「東日本大震災の後に北米とハワイで何が起こったか？」
Nancy Wallace 米海洋大気庁 (NOAA)
- 9:58 ～ **講演 2** 「津波で流されたものは太平洋上をどうさまよったか？」
蒲地政文 JAMSTEC
- 10:08 ～ **講演 3** 「津波漂流物に関する市民の取り組みと国際交流」
坂本昭夫 海をつくる会
- 10:18 ～ **講演 4** 「漂着物に何が付いていたか？－動物－」
James T. Carlton ウィリアムズ大学 (米国)
- 10:38 ～ **講演 5** 「漂着物に何が付いていたか？－海藻－」
川井浩史 神戸大学
- 10:48 ～ 休憩
- 10:58 ～ **講演 6** 「漂着物に付いた生き物が生態系に与える影響は？」
Thomas Therriault カナダ水産海洋省 (DFO)
- 11:18 ～ **講演 7** 「船など他の生き物の運び屋との比較」
Cathryn Clarke Murray カナダ水産海洋省 (DFO)
- 11:38 ～ 質疑応答
- 11:55 ～ 閉会のあいさつ

会場までのアクセス



会場 ハーネル仙台 2階「松島A」
<http://www.heanel.jp/access>

【地下鉄】 南北線『広瀬通』下車
西1番出入口から徒歩約3分
南北線『勾当台公園』下車
南4番出入口から徒歩約5分

【バス】 市営バス『仙台商工会議所前』から徒歩約4分

※環境への配慮からできる限り公共交通機関のご利用をお願いします。
※止むを得ないご事情でお車をご利用する場合には、有料駐車場
(身障害者優先駐車場)をご用意しております。

参加のお申し込みについて

聴講を御希望される方は、「東日本大震災起因海洋漂着物影響評価プロジェクトの聴講希望」と明記し、環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室(メール送付先: KAIYOU02@env.go.jp)までメールにてお申込みください。

申込みは傍聴希望者1名につき1通としてください。メール本文中には以下を記載してください。

- 聴講希望の講座「市民向け国際講座(5/20 仙台)」
- 氏名
- 連絡先(電子メールアドレス、電話番号)
- ご所属

聴講の受付は先着順とし、聴講可能人数(110名程度を予定)を超過した場合には環境省HP上でお知らせいたします。